

講座

「描く」から アートを考える

Day 1

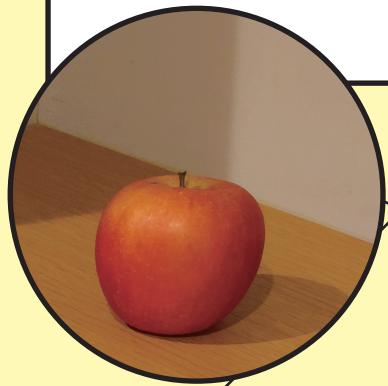
りんご
を描く

2026年2月11日(水・祝)

時間 13:30~16:00

場所 市民アトリエ・ギャラリー

長野県の人にとっては特に親しみのある「りんご」。西洋美術では多くの作品でモチーフとして描かれてきました。形、色、手に取った時の質感、香り、、、実物をよく観察することで様々なことを感じ取ることができます。自分の表現にあう画材を試しながら描いてみましょう。講義ではりんごが描かれた絵画を取り上げ、画家がどのようにりんごを捉えて描いたのかを紐解きます。



Day 2

窓
を描く

2026年2月14日(土)

時間 13:30~16:00

場所 子どもアトリエ

絵画の中で「窓」は様々な意味合いを持ち、描かれた空間を演出する役割を果たしています。また、窓によって切り取られた風景は時に「絵画のよう」と称されることもあります。講義では講師の作品や実践について取り扱い、「風景を切り取る(フレーミング)」ということについて深掘りします。風景を切り取る「窓」について、考えたり、描いたりしてみましょう。



講 師：母袋俊也(画家、東京造形大学名誉教授)

対 象：高校生以上

定 員：各回20名(先着)

参加費：各回1,000円(材料費含む)

申込み：2026.1.29(木)9:00~2.4(水)17:00に
ホームページ内申込フォームから



持ち物：汚れてもよい服装(エプロンなど)

- ・普段ご自身で使用していたり、講座で使いたい画材があればお持ちください。
- ・2.14(土)は外での活動があるので、暖かい服装でご参加ください。